

平成30年11月の保育園だより



お泊まり保育を振り返る

先月の27日(土)～28日(日)にかけて、広島市青少年野外活動センターに、お泊り保育に出かけた年長児。朝晩少し寒さを感じはしましたが、山々の木々が紅葉する中で、自分達で創意工夫した段ボールを持参しての芝滑り、芋ほり、キャンプファイヤー、手作りプラネタリウムでの星空観察、家畜の放牧など自然豊かな現地での一泊保育は、感動を共有し子ども達の記憶に残る活動になりました。

海田高校や安芸南高校の女生徒さんをリーダーに、子ども達が色々な体験をする中で、自分で自分の事をしながら周りの友達に目を向け行動する年長児に成長を感じつつ、生活場面での課題発見の(食事の姿勢・箸の持ち方)場にもなりました。

就学を前に、姿勢保持、学習時の鉛筆の持ち方への影響を考慮し、家庭と協力をしながら今後の改善を図りたいと思います。

選択と集中

～アートな生活とあそび展から学ぶ～

「0歳からの幼児教育」のもと、保育環境をどのように整えるかを日々改善しているところです。『アートな生活とあそび展』においても、乳児では「ビリビリ」「グルグル」「ジロジロ」「ペタンペタン」「ベトベト」「コロコロ」「ザラザラ」「ツルツル」「クンクン」などの擬音(アイウエオ順に並べると2600以上ある)をヒントにすることで、あそび環境が広がることやあそびを促す応答的な大人との関係が重要であることを確認しました。

乳児さん達が、あそびやコーナーを自分で選択し、試し工夫してあそんでいる姿の日常が見えたのではないかと思います。保護者の皆様も共感し、乳児さんを模倣し子どもになってあそんでおられる姿に嬉しさを感じました。

幼児さんは異年齢交流を柱としましたが、『はこ』という素材を出発点に、素材そのものに触れ、特徴を確かめ、素材をあそび、こわし、また創る営みの中で、それぞれの年齢が刺激し合っあそびが展開しました。

年長男児:「僕がティッシュの箱、すごーく高くしとるのに、〇〇ちゃん(年少児)がこわすんよ!」

年少女児: ニンマリ。

保育者:「〇〇君はどんどん高くするのが面白いでしょう。小さい子はね、こわすのが、すごーく面白いんだよ。」

年長男児「へーそうなんだ。」以後高くしたり壊したりの繰り返しで仲良くあそぶ姿からは、人間理解と自己コントロール力を感じました。

倒れそうなダンボールのトンネルを前に、保育実習の坂中学校3年生と年少児。

年少児男児:「こうやってテープ貼ったら倒れんのよ。」(手のひらで床と箱の部分を直角に貼ることを指す。)

保育者:「そうなんだ。どんなテープかな?探しておいで。」

年少男児:「うん。」しばらくして使い慣れた用具置場から養生テープ見つけて持って来ました。

中学生: にこやかに指示のとおり貼る。

年少男児:「ほーらね。」ダンボールを重ねた柱風トンネルをグーで叩き倒れないことを確かめ得意顔。知識を言葉で伝え、満足感を味わったようでした。

中学生: 苦笑いしながら年少児と次の活動を楽しんでいました。(対等に感謝)

坂町教育委員会や中学校の先生方の視察もあり、世代間が自然に交流できる場の設定だと評価もしていただきました。

開催後のアンケートでは、「0歳から年長児まで普段こんな風に遊んでいるのがよくわかった。」「ホールの中の色々な場所に引っ張って行かれお話をしてくれた。」「二時間以上ホールの“作ってあそぼうコーナー”で家族が遊び、おかげで物品コーナーに行けなかった。」「作品が展示してあるより今年のような形がよい。」「個人の作品もみてみたかった。」「個人の絵画の展示は2月頃行う予定)など色いろな感想が寄せられました。

あそびに対する保護者の皆様の見方や考え方が少しずつ変化してきていることも実感できました。

幼児教育の特性である「環境を通した保育」とは、選択と集中のできる一人ひとりのあそび環境を整え、応答的に次の環境を職員が提供する連続性であることを『アートな生活とあそび展』からも感じる事ができました。また職員同士の対話も不可欠で状況判断は職員にも求めるところです。

今日は、年度の後半に向けて、あそびのみならず、自主的にかつ主体的に生活するための状況判断やそれぞれの課題も発達に合わせて押さえていきたいです。ご家庭と保育園との両輪で子ども達を支えていきましょう。

(園長 倉本弘子)

地域公開保育で子ども達と交流

この日は、坂みみょう保育園の苦情解決第三者委員の縫部洋輝様、見藤洋子様をお迎えして、一日園長をお願いしております。保護者の皆様はもちろんのこと、祖父母の皆様、地域の皆様に、保育園の子ども達のあそびや生活の様子をご覧いただきながら交流を図りたいと思います。

園開放も同時開催で、未入園の乳幼児や保護者の皆様のあそびの部屋もあります。ご近所に対象のご家族をご存知でしたらお誘い合わせの上ご来園ください。

日時: 11/6(火) 午前9時半～11時半
(食参観も含む)

場所: 坂みみょう保育園 各クラス
※園開放も同時開催

乳児保育参観

親子ふれあいあそびの会

日時: 11/10(土)

登園～11時15分

場所: 坂みみょう保育園

保育参観 9時15分～

親子ふれあいあそびの会

10時15分～11時15分

保護者会さくらんぼ会の協賛により

「あそび工房ゆめみ」主宰 南夢末先生をお招きします。南先生は、7月豪雨災害後、色々な方々と子ども達の交流を何度も企画してくださいました。

子育てや親子触れ合いのヒントがたくさん!! 笑いと涙の感動が溢れることでしょう。